

9月9日は「救急の日」！

9月に入り暦の上では夏と秋の間の季節となりましたが、まだまだ暑い日が続いています。

さて、皆さんは9月9日が何の日かご存じでしょうか？9月9日は「救急(99)の日」と言われています。これは厚生労働省や消防庁など様々な分野が協力し国民ひとりひとりの救急医療に対する正しい理解と認識を深め、医療関係者の意識の高揚を図ることを目的としたもので、昭和57年につくられました。救急医療と聞くと皆さん専門的で難しい内容と思いがちかもしれませんが、昨今はAEDが広く認知されるようになり一般の人でも誰かの命を救う手助けができるようになりました。

今年はコロナウイルスの流行も重なり例年とは違う夏となっています。しかもテレビや新聞をみていると熱中症やコロナウイルスによる体調不良で救急搬送されたなどのニュースもよく目にすると思います。そんな時に皆さんひとりひとりの協力があれば命を救う手助けができるかもしれません。

今回の記事が皆さんの救急医療を知るための小さなきっかけとなればと思います。

皆さんと協力してこの大変な時期を乗り越えていきましょう！

